

平成 28 年度

研究・実践報告集

# まちだの実践

第44号



東京都立町田の丘学園

## 目次

### はじめに

#### I 今年度の研究活動

今年度のA部門の研究について	3
小学部	7
中学部	25
高等部	38
公開研究協議会のまとめ	56
今年度のB部門の研究について	55
小中学部の研究	57
小学部	59
中学部	73
高等部	77
公開研究協議会のまとめ	81
訪問の研究報告	82
自立活動部の研究報告	90

#### II 本校の特色ある取組

日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業	96
宿泊防災訓練実施報告	97
外部専門員活用報告（両部門）	98
センター的機能の報告	101

#### III 資料編

キャリア教育推進委員会（全体計画）	107
進路指導部（見学先と活動内容）	108
校内医療的ケア委員会	110
研究研修部　ワークショップ	111
教材集	113
今年度の研修一覧	192

おわりに	193
------	-----

## はじめに

校長 村野一臣

平成28年度は、本校舎と山崎校舎との両校舎での教育活動が2年目となりました。両校舎での学習条件も整い、児童・生徒も非常に落ち着いた環境の中で、充実した教育活動を展開しています。山崎校舎では、中庭に人工芝を敷設するとともに、山崎保育園の東側敷地をグラウンドとして使用できるよう関係部署と調整をいただき、来年度から使用することができるようになりました。一方、今後の改築工事に向けて、基本設定が終了し、実施設計を経て、平成30年度からの工事の準備が着実に進んでいます。

学校規模としては、本校舎の肢体不自由教育部門小中高等部19学級（内訪問学級4学級）53名、知的障害教育部門高等部25学級169名、山崎校舎の知的障害教育部門小中学部36学級160名、計382名となり、昨年度と比べ4学級、若干児童・生徒数11名が減少しました。（平成28年5月1日現在）

本年度から肢体不自由教育部門では「学校介護職員」、知的障害教育部門では「外部専門員」が新たに導入されました。学校が様々な人材を活用して、チームで教育に当たり、その専門性を高めていくことが求められています。そのためにも、教員一人一人の指導に対する自覚と意欲をもって、授業改善に取り組んでいくことが更に必要となります。国では、平成32年度までの間に、おおむね特別支援学校の教員が特別支援学校教諭等免許状を所有することを目指しています。

さて、本年度の研究活動ですが、昨年度には3か年の研究活動のまとめを行いました。本年度は、全校研究テーマを「児童・生徒の自ら学ぶ姿勢の育成を目指した授業づくり～活動分析を活かした指導と評価の研究を通して～」とし、3年間の研究がスタートしました。この研究では、活動分析（工程分析）をキーワードとして、児童・生徒に応じたスモール・ステップの指導を行い、それに基づく評価による授業改善を進めています。そして、その改善の視点から自ら学ぶ姿勢の育成につなげていくことを目指しています。

山崎校舎の知的障害教育部門小・中学部では、全校テーマを受け、児童・生徒が「できた」と実感できる授業作りを目指してきました。小学部は国語・算数、中学部は作業学習に焦点を当てた活動分析表の作成や検討を通じた授業研究を進めています。この1年で活動分析表の作成から改善、手立ての検討、評価の方法などの検討を通じ、活動分析表の在り方や意義についての教員の理解が深まりました。

本校舎の肢体不自由教育部門は、部門テーマを「適切な児童・生徒理解に基づく授業づくり」とし、授業の活動をよりきめ細かく分析した目標を設定するとともに、その評価を通じた授業を展開してきました。集団での学習場面で、重点と考える活動に焦点を当て、活動分析表を活用することで、何ができるのか、どのようにしたらできるのかを繰り返し検討してきました。変化の少ない重度の児童・生徒にこそ、きめ細かい分析と共通した指標が児童・生徒の変容につながっています。また、知的障害教育部門高等部では、工程分析を基盤に「分かって動けること」を目指した作業学習における授業改善を検討してきました。生徒が分かって動けるための手だてとしての言葉掛けも分析する中で課題が分かり、関わる教員の気付きや改善のポイントの共通化が大切であると改めて感じました。さらに、授業改善の視点として、自らの役割を理解し、自己評価につなげるための具体的な改善例も成果となりました。

研究活動の1年目であり、まだ活動分析についての共通理解をしながら、研究を進めているところです。次年度は「活動分析表を活用した自ら学ぶ姿勢を育成する授業改善の観点整理」へ今年度の成果を更に深めていきたいと考えています。

この「まちだの実践」は、1年間各学部各部門で取り組んできた教育実践を東京都教育委員会や大学等の先生方に指導・助言をいただき、授業研究等を通じてまとめたものです。これまで関係していただきました、助言者及び関係者の皆様には感謝申し上げますとともに、今後とも御指導・御助言をお願いします。さらに、本校の研究活動だけでなく、外部専門員の活動やセンター的活動など本校の特色的な活動をまとめました。是非御一読いただき、忌たんのない御意見、御指導・御助言をいただけると幸いです。